鹿市医郷壇

⑤12　樋口　一風　選

兼題「日傘（ひがさ）」

天

清滝支部　**鮫島爺児医**

軽り日傘せ日除けと杖ん役くさせっ

（唱）杖じゃ無かどち婆どんの見栄

（評）日傘は軽量に出来ているし長い柄の傘は、杖としても使いやすいのでは。足や腰が悪く、杖が必要なご婦人には、杖は抵抗があるらしくて使いたくないようです。

細身で長いパラソルなら見た目にも良いし、使いやすいので杖替わりに使っているということです。

杖と、日傘を持って行動するのは大変でしょうが日傘が杖の役もします。

地

上町支部　**吉野なでしこ**

精一杯な態日傘も差ささじ夏ゴルフ

（唱）日焼けなんどは構わじ回っ

（評）夏のゴルフは犬も食わないと言いますが。サンデーゴルファーには真夏のゴルフはまた味のあるものなのでしょう。日除けの傘は準備して持ってはいるのですが、チョコレートの都合かなんかで、つい熱が入ってしまったという句です。でも傘と水分には気を付けてプレーしましょう。

「精一杯な態」に傘を差さない理由がわかります。

人

紫南支部　**二軒茶屋電停**

熱中症ん対策き日傘ん爺が増えっ

（唱）店が買わせたUVカット

（評）熱中症対策に日傘は必要な気がします。昔から、日傘はご婦人専用みたいになっていました。でも最近は紳士用の専用日傘や晴雨兼用の日傘が売られています。使ってみるとカンカン照りの日中でも意外に涼しいものです。

でも自分一人だけ差していると何となく気が引けます。あまり人目を気にしないならお勧めです。老紳士の夏のファッションになるかもわかりません。

五客一席　清滝支部　**鮫島爺児医**

夕方て日傘はけろっけ忘れっ

（唱）帰い着てかあ行た先き電話

五客二席　伊敷支部　**谷山五郎猫**

青年迄いも日傘を差すい時代いなっ

（唱）肌が荒るっで日焼け厳禁

五客三席　**加治屋犬好**

白れ日傘せ昔の歌を思め出せっ

（唱）伍代夏子ん昭和ん歌謡

五客四席　**印南　本作**

雨傘を日傘ん代わい差て歩っ

（唱）陰げなっ涼し大か黒傘

五客五席　清滝支部　**鮫島爺児医**

擦れ違ごた日傘ん中い美人の顔

（唱）チラッ見てかあ二度見どんしっ

秀　逸

清滝支部　**鮫島爺児医**

夕立ち遭っ日傘が直き役く代わっ
模様入いの日傘が道で晴れをしっ
海開き木陰げ日傘をけ忘れっ
日傘どま縁も無かった戦時中
日陰でな派手な日傘も晴れあせじ

上町支部　**吉野なでしこ**

強え日差し焼けちゃならんち新け日傘
パラソルん陰い猫ずい来て涼ん

伊敷支部　**谷山五郎猫**

今時の青年あ日傘を差っ歩っ
日傘どま差さんで良かち木強娘

加治屋犬好

鹿児島ん日差しゃ日傘も無と困っ

印南　本作

傘立い夏ちな日傘がまた増えっ

薩摩郷句鑑賞　151

第133回南日本薩摩狂句大会
入選句　渋柿誌から抜粋

兼題「一日」　**工藤　天然　選**

日の一日上司ん機嫌取い疲れ倒けっ　畑山　真竹

年金日一日あ女房も逆ろわじ　伊地知　孝

一日中何もせん日の苦か焼酎　中村　木強

ウクライね一日でん早え春ゆ願ごっ　上籠　若菜

出っくらめ言たて一日で迎め来っ　中野　大八

趣味が無で一日が長か退職めた亭主　江口　紫朗

娑婆ん事つ忘れっ一日太公望　工藤　天然

兼題「塞っ」　**諸木　小春　選**

午前様め戸口ちゃ全部塞がれっ　内野　茶柱

道つ塞せっ広場べ呼っ込ん鼠取い　遠矢　酎多

咳払れで噂話の口つ塞っ　樋口　一風

干割れ田圃が水口つ塞っ塵埃く叱っ　米元　年輪

プーチンな非難の大声へ耳む塞っ　工藤　天然

交付金基地反対の口つ塞っ　樋口　一風

いけんすも事故車とパトが道つ塞っ　諸木　小春

兼題「鈍び」　**石塚　律子　選**

婆ん台所包丁ん響っも鈍ぶけなっ　畑山　真竹

閃っが鈍びで句作い難儀ぎしっ　諸木　小春

鈍び女房ん料理が届かじ飲い始た爺　有馬　湧声

鈍び鼻あ焦れ気付かじ長電話　上田喜八郎

目を瞑っ待ってん鈍びで彼し食付っ　内野　茶柱

分厚ち腹れ切れが鈍びメす途中で研っ　堂脇　天進

流行い鈍び亭主しゃパンツをば下着言っ　石塚　律子

薩摩郷句募集

◎9号
題　吟　「歯痒い（はが）い」
締　切　令和4年8月5日㈮

◎10号
題　吟　「唐芋（からいも）（かいも）」
締　切　令和4年9月5日㈪

◇選者　樋口　一風
◇漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあてててくださいます。

◇応募先　〒八九二―〇八四六
鹿児島市加治屋町三番十号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL　〇九九―二二六―三七三七
FAX　〇九九―二二五―六〇九九
E-mail：ihou@city.kagoshima.med.or.jp